



おいしい「そば」いかがですか



山形村は「そば通」の間ではかなり知られたそばの名産地。「唐沢そば集落」をはじめ、地元産のおいしい素材にこだわった手打ちそばを提供するお店が、山形村には点在しています。



名物 やまっちそば

山形の名物。村特産の長いもと、そばをコラボしました。麺状に細切りにした長いもと、そばをいっしょにいただきます。つるつとしたのと越しとシャキッとした食感が最高です。

「やまっちそば」の情報は
こちらでも見られます。

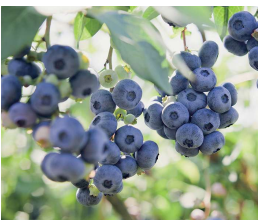


唐沢そば集落

清水高原に向かう道の脇に、数軒のそば屋さんが点在しています。唐沢川の水で水車を回し、粉挽き仕事をしていた昔からの歴史ある地域で、当時から振る舞われていたそばの素朴な味を今に伝えています。他にも村内で、おいしいそばを食べられるお店はたくさんあります。



やまっち
山形村イメージキャラクター



旬の野菜や果物を 自分たちの手で採りませんか



アスパラガスやブルーベリーなど山形村は野菜や果物の宝庫。自然に触れ合いながら思い出に残る収穫体験をしませんか。

収穫体験

収穫体験は事前のお申込みが必要となります

山形村は野菜や果物の種類が豊富。大自然の中、自分好みの収穫体験を楽しんだ後は、直売所で農家の皆さんが自信を持ってお届けする旬な農産物をお土産に買って帰るなんて、野菜・果物づくしな一日の過ごし方もおすすめです。



アスパラガス
5月中旬～6月中旬
地面からニョキニョキ元気に顔を出した甘いアスパラガスを、自分の手で摘み取れます。

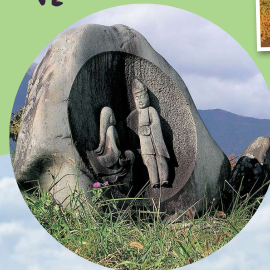


ブルーベリー
7月中旬～8月中旬
村内には摘み取り農園がたくさんあり、夏場は大勢のお客さんで賑わっています。時間を忘れてついたくさん採ってしまいますよ。

収穫体験の情報は
こちらでも見られます。



やまっち
山形村イメージキャラクター



信州 山形村

道祖神とそばの里

Shinshu Yamagata Village

山形村の紹介

標高約700m。

信州の「ほぼ」中央に位置します。

気候は降水量が少なく、
夏と冬の寒暖差が激しく
自然に恵まれた
ちいさな村です。



山形村役場 HP



山形村役場
Instagram



山形村観光協会 HP

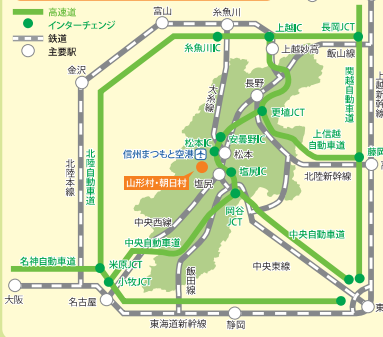


山形村観光協会
Facebook

山形村飲食店

- | | | |
|----------------|--------------|---------------|
| 1 そば処 からさわ亭 | 9 そば処 鶏 | 17 山賊焼 成美屋 |
| 2 石碾き蕎麦 水舎本店 | 10 手打ちそば 川上屋 | 18 居酒屋 他抜き |
| 3 からさわ屋 | 11 そばカフェ 水舎 | 19 居酒屋 いちい |
| 4 美佐和 | 12 そば処 かみじょう | 20 レストラン ひげい |
| 5 そば 幸 | 13 まるなか食堂 | 21 ご飯屋 山形村本店 |
| 6 根橋屋 | 14 大勝 山形店 | 22 テンハウ 山形店 |
| 7 山法師 | 15 そば処 唐松 | 23 Miska Noma |
| 8 石碾き蕎麦 水舎つつみ庵 | 16 鯨 赤坂 | 24 御食事処 和泉 |

山形村・朝日村へのアクセス



方向	路線	所要時間	備考
東京方面から	JR 新宿	約2時間35分 (中央東線特急)	車・タクシー 約30分
	高速度道路	約1時間30分 (中央自動車道)	10分 (長野自動車道)
	高速度道路	新宿⇄松本 高速バスで約3時間10分	
北陸方面から	JR 金沢	約60分 (北陸新幹線)	車・タクシー (車/昇降) 約30分
	高速度道路	約1時間30分 (北陸自動車道)	約30分 (長野自動車道)
	高速度道路	金沢⇄高山⇄松本 特急バスで最速約5時間25分	
関西方面から	JR 大阪	約60分 (東海道新幹線)	車・タクシー 約30分
	高速度道路	約1時間30分 (名神高速道路)	約10分 (長野自動車道)
	高速度道路	大阪⇄松本 高速バスで約5時間45分	

清水高原へようこそ



標高1,300mの清水高原は松本平や安曇野が一望でき、中心には宿泊施設「スカイランドきよみず」や名刹「清水寺」があります。春は新緑の中の散策でリフレッシュ、夏は高原の風の中で涼しさを満喫、秋には鮮やかな紅葉が目を楽ませてくれます。

スカイランドきよみず



癒しの時間を過ごす檜風呂、ラジウム鉱石による人工温泉の大理石風呂、どちらも眼下に松本平を一望することができる絶景の展望風呂です。日帰り入浴や、各種宴会、研修会なども承ります。

お問い合わせ TEL.0263-98-2300 HP : <http://www.slkiyomizu.jp/>

山形村

双体道祖神

村内のあちこちの辻々に石仏や双体道祖神が見られます。長い間風雨にさらされながらも、男女仲良く寄り添って佇む姿が微笑ましいですね。



道祖神の情報はこちらでも見られます。



慈眼山清水寺

清水寺の詳しい情報はこちらでも見られます。



▲参道の百体観音



▲深雪の境内



松本平を一望する清水高原にあり、下界の喧騒とは無縁な静寂で荘厳な雰囲気は、何か懐かしさを感じさせてくれます。伝承によると、天平元年(729年)の春、釋行基が廻って来られ、自ら千手観音の尊像を彫って安置し創設したといわれています。その後延暦年間、坂上村麻呂が蝦夷征伐の際、本村清水寺を参詣し、征伐の成功を祈願したところ、靈驗あらたかであったため、本村清水寺にあった千手観音の尊像を京都へ移し、それが京都東山にある清水寺になったと伝えられています。その真偽の程は定かではありませんが、全国に100程ある「清水寺」の山号を持つ寺院は、その多くは「せいすいじ」と読み、「きよみずでら」と読む寺院は少ないといえます。京都清水寺との縁を感じずにはいられません。御本尊は木造の千手観世音菩薩像で、本堂内陣の厨子内に納められており、江戸時代の作といわれています。脇手の一対を頭上で組む清水様式の千手観世音菩薩像で、京都清水寺と同じ様式です。



▲千手観音菩薩像

